

平成28年度 市野与進こども園事業計画

平成28年度幼保連携型認定こども園としてスタートにあたり、教育基本法・児童福祉法・認定こども園法に基づいて、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示されている教育・保育を一体と捉えながら進めていきたいと考えております。

しかし 教育・保育内容につきましては、保育所保育指針に幼稚園教育要領が全面的に含まれていることから、大きな変化はないと考えております。今まで「保育」という言葉の中に「養護と教育」といったとらえ方をしておりましたが、平成27年度から教育を前面に打ち出し、「教育・保育」という表現になっているのですが、意識している職員も少なく、しばらくの間戸惑いが出てくるように感じます。また ここで大きく問題になってくるのが、幼稚園教諭の更新手続きの問題です。経験の長い職員がいることで、計画的に更新手続きを進めていかなければ保育に支障をきたすことも考えられます。

また 職員組織の面で職員の名称が変わり、事務手続きが複雑になり、量が増えることも懸念しております。

東区の地域の状況として、平成28年度 こども園が4か園・公立保育園が3か園・民間保育園が11か園・小規模保育所3か園合計21か園となります。

それでも 待機児童が解消されないため、市として平成30年度整備計画分を前倒し、東区は400人の募集定員を実施する予定です。当園も定員140人から40人増やし180人として、浜松市に整備計画の申請を行います。

法人の理念

「子どもは一人ひとりがあらゆる可能性を持っている宝であり、わが国の将来を担う希望である。私たちの目指すものは、その子ども一人ひとりにあつた豊かな発達を促すことである」

保育園の理念

「利用者の立場に立ち、人と人とのつながりを大切にしながら 子どもの発達を促す保育」

① 重点目標及び重点施策への取り組み

「魅力あるこども園づくり」を最大の課題の中で

※保育教諭と教育・保育の質の向上

鯨岡先生のエピソードからくる「子どもの心の育ちを大切にする保育」に取り組み3年となり、2年目の平成27年度は「子どもの今を大切に」をテーマに、子どもの心の受けとめ方を確実なものにしたいと考え、「子どもと一緒に遊びこむ」と保護者に子どもの様子を伝えるため「1日の保育の振りかえりシート」を書き、27年度実施してきた「1分間コミュニケーション」を28年度も継続実施をいたします。

子ども・子育て支援法の(基本理念)に沿って第一義的責任を保護者が有するということを頭に置き、体と心をつくる肌の触れ合い「スキンシップ」がなぜ必要か保育参加を通し、親に伝える意味で「親子ふれあいの日」を設定し、子どもの姿の変化を実際に感じてもらいながら、子育て支援を考え行っていく予定です。

※職員研修

実技として講師を招いてふれあい遊びの研修を実施

キャリアアップ研修……1年以上中堅以下の職員実技研修・子どもの権利条約に基づくプライバシーについて

・教育・保育を情報発信の場として……

保育の見える化「伝えよう保育内容」……2月に園内研修報告を保護者に実施する

平成27年度 実施してきた「1分間コミュニケーション」を継続

保育教諭と子どもの関わっている姿を写真に撮り、解説・つぶやきをいれて掲示する。ファイルにして回覧をする

・自園評価の取り組み・自己目標及び園が求める保育教諭の姿を人事考課を通して進めていく

※子育て支援として……利用者にとって子育ての一番大切なことを「子どもが人として生きていくために」として

絆ができるふれあい遊びの実施

地域の子育てをしている母親にベビーマッサージを通して「子育てにとって一番大切なこと」を伝える。

1歳から2歳までのふれあい遊びを1ヶ月に一回開催計画をしています。

※小学校連携を平成27年度から進めている計画作成を実践する

法人の基本方針	概 要	内 容
<p>① 保育指針、認定こども園教育・保育要領、放課後児童クラブ運営指針（以下保育指針等）に沿った保育の実践</p>	<p>・子ども・子育て支援法を十分に理解し、支援法に沿った担当業務の在り方を把握したうえで、実践し、振り返りを行う。（目標による管理）</p> <p>・子どもの安全を守るためにリスクマネジャーを養成し、リスクマネジャーから各職員への教育を徹底する。</p> <p>・子どもの権利を守ること、虐待の防止といった子どもの人権についての関心を深める。</p>	<p>★保育教諭主導の「させる保育」から子ども自ら「やってみよう保育」へ</p> <p>★教育・保育の遊びを通して（生きる力の基礎づくり）</p> <p>① 人としての育ち、園での教育の在り方をしっかりと認識しながら「生きる力」の基礎を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人との関わり・・・ ・自分の思いを言葉にする ・集団生活や遊びのルールを守る ・相手を思う気持ちを育てる ・基本的生活習慣の確立 <p>）を育てていきたい。</p> <p>② 情緒の安定や大人との信頼関係を図りながら、日々心安らかに安心して生活を送る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育教諭は一人ひとりの関わりを大切にしながら、保育教諭の思いと子どもの思いを絡み合わせ、「明日につながる振り返り」を行う。 <p>★情緒の安定と5感を大切にしながら「挑戦する気持ち」、「意欲」、「体験する楽しさ」を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見る→意欲（やってみたい）→真似る→学ぶ <p>4歳5歳の保育テーマ「意欲を持って何にでも挑戦する子を育てる」</p> <p>★人としての基本的マナーを身につける</p> <p>（あいさつ・履物を揃える・自分の持ち物の整理整頓など）</p> <p>★「食育」 日本古来食文化の伝承</p> <p>季節の食べ物を知り、畑で採れた食材で料理する楽しさを知る。</p> <p>地域人たちとのつながりを大切にしながら、行事食に興味を持つ。</p> <p>★リスクマネジャーを中心とした組織づくり、職員の意識向上</p> <p>・虐待児の早期発見と職員の虐待研修に参加</p>
<p>② 国、市の方針、環境変化に応じた園の経営</p>	<p>国の「子ども・子育て新システム」、市の保育政策等への適合をはかる。</p> <p>・保育所担当行政をはじめ関係機関との連携を深める。</p> <p>・2016年度認定子ども園に移行する。移行後の対応、特に事務的な手続きや保護者との対応を確実に進める。</p>	<p>★こども園に係る研修会に積極的に参加。</p> <p>民間園長会を通して認定こども園の情報提供をうける。</p> <p>① 免許更新に向けての計画実施</p> <p>② 保護者説明会の実施</p> <p>★幼保連携型「認定こども園」移行にあたり「教育・保育要領」と「保育指針」の勉強会開催。</p>
<p>③ 保護者への積極的な子育て支援</p>	<p>・保護者への支援、保護者との連携を強化する。</p> <p>・地域への子育て支援メニューを充実する</p>	<p>★親育ちを考える。（子どもが人として育つために）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども園の持っている専門性を利用した子育て支援 ・子育てに大切なこと・・・職員による親子触れあい遊びの提唱 <p>保護者講演会・・・「喫煙が及ぼす子どもへの影響」</p> <p>★地域の子ども・子育て支援の充実 親子ひろば・タッキークラブ</p> <p>① 待機児を持つ保護者及び将来保育園に預けたい保護者に情報提供 保護者の悩みの共有・支援</p> <p>② 親子ひろばの支援メニュー充実に向けてプログラムを作成</p>

法人の基本方針	概 要	内 容
	<p>保護者も教育・保育に参加し体験することにより、こども園への理解と教育・保育内容の理解を深める。</p> <p>・</p>	<p>・親子ひろばのプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 手作り離乳食とおやつ ➤ 妊婦懇談会(マタニティーカフェ)・・・妊産婦と助産師及び職員懇談会 ➤ 子育て中の親と職員の交流会(マザースクエア) ➤ 親子触れあい遊びクラブ 1歳～2歳 ➤ ベビーマッサージ・子育てに大切なこと。6回コース・1回コース ➤ 保育参加・・・子どもとの関わり方や遊びの様子を見て、家庭での子育ての参考にしてみよう <p>★地域ボランティアの活用とこども園 教育・保育の情報発信をする 子育てボランティアの活用 ・親子広場での育児相談</p> <p>★教育・保育内容が見えるこども園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「伝えよう教育・保育内容」 5W1Hを使って、教育・保育のプロセスを伝える。 振りかえりシートを書くことで、園での子どもの姿を伝える。 ・保育参加を通して、子どもの園での様子や保育教諭のかかわり方など知ってもらふ。 ・保育参加に父親も積極的に参加を促す ・3歳以上児の保育参加の奨励
<p>④ 保育環境の整備</p>	<p>財源の確保を含めて計画的に環境の整備の強化を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの安全と衛生的な環境を確保する。 ・修繕や備品の購入は年次を追って計画的に進める。 	<p>① 1歳児の担当人数を6:1から5:1の対応する</p> <p>★職員の危機管理研修</p> <p>① リスクマネジャーの育成と組織づくり</p> <p>②自己チェック・・・ヒヤリハット研修</p> <p>保育士の書類記入の軽減とヒヤリハットの効率のアップ</p> <p>② 点検・指摘に関して速やかに保守・修繕の実施</p> <p>★こども園公定価格による収入・支出のバランスを考えながら、健全なこども園運営を行う。</p> <p>計画的に事前に調査、予算どりを実施</p> <p>★責任者は職員に運営状況を丁寧に説明する</p>
<p>⑤ 働きやすい環境づくり、待遇改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・早期採用計画を明確にする。 ・法人全体、職員全体で、積極的な新規採用活動を実施する。 ・職員の給与改定による処遇改善を進める。 	<p>★他園との情報収集を行いながら、自園の採用計画を行う</p> <p>① 5月に行う県保連・浜松民間園長会主催の合同就職説明会の有効利用を行う</p> <p>② 新規採用募集要項を見直しながら、計画を立案する</p> <p>★面談を通し、園長、教頭に意見を言いやすい環境をつくる</p> <p>★定員増・公定価格による収入・支出のバランスを考えながら、健全なこども園運営を行う。</p> <p>★有給休暇を取りやすい人事配置を行う。</p> <p>★最低基準に合った人事配置</p> <p>★「選ばれる保育園」をめざした人材育成をする</p> <p>① 正規職員・パート職員が自己発揮できる職場づくり</p> <p>② 園内研修の充実</p>

法人の基本方針	概 要	内 容
⑥ 計画的な研修	<p>・自ら学ぶ姿勢を支援する。</p> <p>・倫理性、組織性、専門性をもつ職員の育成を行う。</p> <p>・パート職員も含めたOJTの強化、プリセプター方式による新人研修等</p> <p>・新たなキャリアパス研修計画の策定</p>	<p>★教育・保育の質の向上を目指して</p> <p>① 正規・パートとの区別なく全員が研修に参加ができるよう配慮を行う</p> <p>② 非常勤・パートの意識改革が必要になってくるため、少しずつ抵抗がないように伝えていく。</p> <p>③ 講師を招いて触れあい遊びの実技研修を実施</p> <p>④ 職歴、経験年数に応じた職員研修</p> <p>① 園外研修参加</p> <p>② 新規採用研修</p> <p>・・・新規採用者と1・2年以上中堅未満の保育教諭実務研修</p> <p>★園内研修</p> <p>エピソード研修を根底に「子どもの今を大切に」を引き続きテーマとする。</p> <p>① 子どもと保育教諭の遊びこむこと</p> <p>遊びこむことによる子どもの変化を記録にのこす。</p> <p>OJT・プリセプター方式による職員育成新規採用者に対する</p> <p>★キャリアパスによる人材育成</p> <p>① 中堅未満職員の初任者研修</p> <p>② 子どもが子どもらしく生きるために「子どもの権利条約」について研修</p>
⑦ 経営の把握と無駄の排除	<p>・経営状況を適切に把握し中長期計画を策定する。(の予算根拠の明確化とその実行管理)</p> <p>・管理部門は常に現在の経営状況を把握し、随時職員にも伝える。</p> <p>・適正な経営を確保するために、無駄を排除する。</p> <p>・両園の建物、設備の再生産性のための費用の算定とその積立計画を検討する。</p>	<p>★中長期計画の中に人員と設備備品計画の策定をする。</p> <p>★責任者は運営状況を丁寧に説明する</p> <p>★社会状況・経営状況を1人ひとり自分のことと捉え、職員全員ができることから始める。節電・漏水・物を大切に</p> <p>① ゴミの省力化</p> <p>職員・3歳以上児に「自分のポケットにハンカチを」運動実施</p> <p>② 保育の中で園児たちに物の大切さ、資源(水)の大切さを知らせる</p> <p>・ゴウヤときゅうりのグリーンカーテンの設置</p> <p>収穫物は子どもたちとお店やごっこをすることで簡単な金銭感覚を育</p> <p>★責任者は運営状況と照らし合わせながら、施設整備の計画表を作成</p> <p>一階保育室園児用ロッカーの取り換え・(中長期に記載する)</p>
⑧ タイムリーな情報発信	<p>・ホームページで随時新しい情報を提供し、保護者や地域社会、保育教諭就職希望者に情報を開示・発信し、交流する。</p> <p>・日頃の実践発表を保護者に伝える機会を持ち、保護者とともに教育・保育を進める。(保護者向けの発表会やホームページ上にブログによる情報発信等。)</p> <p>・職員の末端に至るまで、必要な情報はタイムリーに正しく流す(月次決算、重要決定事項)</p>	<p>★責任者は運営状況をHPや閲覧しやすいうように提示する。</p> <p>★地域・利用者・就職希望者に向けた教育・保育内容が見えることも園ホームページを通して、子どもの笑顔、行動など様子がしっかりと伝わるように伝え方を工夫する。</p> <p>★教育・保育のプロセスを保護者に伝える(園の考えや保育教諭の思い)</p> <p>① 教育・保育の様子をよりイメージしやすく伝える</p> <p>・エピソード記録に基づき、ボード・ホームページ・クラス便り・行事・教育・保育の取り組み発表・園内掲示利用して伝える</p> <p>② 平成27年度に引き続き、正規・非常勤・パート職員も含めて教育・保育の記録(1日の振り返り)の取り方の研修</p> <p>★こども園公定価格による収入・支出のバランスを考えながら、健全なこども園運営を行う。</p> <p>責任者は職員に運営状況を丁寧に説明する</p>

法人の基本方針	概 要	内 容
<p>⑨ 環境を守る取り組み</p>	<p>・教育・保育の中にも職員の行動にも環境問題を考えた対応をする</p> <p>・ものを大切にす。</p> <p>・動物・植物を大切にす。</p>	<p>★社会状況・経営状況を1人ひとり把握し、職員全員ができることから始める</p> <p>① 節電対策</p> <p>・ゴウヤときゅうりのグリーンカーテンの設置</p> <p>収穫物は子どもたちとお店やごっこをすることで簡単な金銭感覚を育てる。</p> <p>② ゴミの省力化</p> <p>職員・3歳以上児に「自分のポケットにハンカチを」運動実施</p> <p>③ 園児たちに資源の大切さを知らせる</p> <p>水の出し出っ放し・漏水等の確認</p>
<p>⑩ 新しい地域貢献活動の実践</p>	<p>保育に関係した地域貢献活動(例えば、こどもの貧困対策等)に参加する方策検討する。</p> <p>・地域内にある福祉ニーズを探り、法人として地域社会に貢献する。</p>	<p>★地域活動支援強化</p> <p>① 親子ひろばの支援メニュー充実に向けてプログラムを作成</p> <p>・親子ひろばのプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 手作り離乳食とおやつ ➤ 妊婦懇談会(マタニティークフェ)・・・妊産婦と助産師及び職員懇談会 ➤ 子育て中の親と職員の交流会(マザースクエア) ➤ 親子触れあい遊びクラブ 1歳～2歳 ➤ ベビーマッサージ・子育てに大切なこと。6回コース・1回コース ➤ 保育参加・・・子どもとの関わり方や遊びの様子を見て、家庭での子育ての参考にしてもらう <p>保育参加の呼びかけ保育者の子どもとの関わり方や遊びの様子を見て、家庭での子育ての参考にってもらう</p> <p>② 一時預かり事業の強化</p> <p>母子家庭・父子家庭の預かり保育</p> <p>養育者の精神障害による子育て不安の支援</p> <p>③ 待機児童を持つ保護者支援・・・タッキークラブ</p> <p>④ 地域防災訓練に参加・・・地域に参加</p> <p>⑤ 地域ボランティアの活用</p> <p>⑥ 保育園行事への参加呼びかけ</p> <p>流しソーマン・夏祭り・学童交流</p> <p>★地域のボランティア活動を保育の中に取り入れ、育成につとめる。</p> <p>地域ボランティア、中高生の保育体験、実習生の育成と地域ボランティアの活用</p> <p>★民生児童委員と連携をとり、ながかみ地区子育て協議会に参加する。</p>